

令和4年度第4回青梅市障害者地域自立支援協議会会議録

令和5年2月28日（火）

午後5時45分～午後7時45分

市役所2階204～206会議室

出席：井原会長、加藤委員、副田委員、宮崎委員、大栗委員、下地委員、大沼委員、朝長委員、星野委員、市川委員、及川委員、細川委員、遠藤委員、今井委員、中村保健師（山本委員代理）

欠席：古久保副会長、神野委員、野村委員、河邊委員

1 開会

障がい者福祉課斎藤課長

2 あいさつ

井原会長あいさつ

3 協議事項

- (1) 障害者計画等策定のためのアンケート調査について（資料 1）
（事務局）資料1－1～資料1－3により説明。

（主な質疑、意見等）

・ 障害者基礎調査の調査票について、言葉遣いや表現が分かりづらい箇所の修正、選択肢を増やすことや、多様性に配慮し選択肢を複数回答できるようにするなどの修正案が提案された。また、調査項目として、障害者の家族の収入状況や災害時の個別支援計画策定などの項目を増やした方がいいなどの提案がされた。事業所アンケートについても、表現が分かりづらい箇所の修正が提案された。

→いただいた意見をもとに、事務局で調査票の修正を検討したい。

・ 障害者基礎調査について、調査対象に手帳を所持しない発達障害児や自立支援医療受給者は含まれるか。

→今回の調査対象には含まないが、今後はそういった方たちの意見もフォローしていく体制を検討していく必要があると考える。

⇒調査票の内容については、意見をもとに事務局で修正案を作成することとした。修正内容の確認については会長、副会長に一任し、事務局案の調査対象、調査期間で実施することで全員承認。

4 報告事項

(1) 青梅市虐待等の防止に関する条例（案）について

（資料 2（一部省略））

（事務局）資料により説明。

（主な質疑、意見等）

- ・第 3 条 2 では、「被養護者の利益が最大限に考慮」とされておりますが、考慮の対象ではなく「確保」すべきものではないか。
- ・第 4 条以下で責務について言及しているため、第 3 条 3 は不要と思われる。
- ・第 6 条の「養護者の責務」は、3 つの虐待防止法に規定されていないもので、条例に示すことで介護・介助等のケアを家族内で行うべきものという誤ったメッセージを送ることになる。
- ・第 2 条(7)エの養護者として「配偶者からの暴力を行った者」との規定は、精査されるべきではないか。DV 防止法は、配偶関係に基づいて規定しているのであって養護関係において規定しているものではないと思われる。

(2) 市内における虐待通報等の状況および対応について （資料省略）

（事務局）資料により説明。

（主な質疑、意見等）

- ・虐待と不適切支援の線引きが曖昧で、一見すると虐待と思われる事案でも虐待認定されなかったり、認定不可となることがある。疑わしい事案については、引き続き調査を継続するようお願いしたい。
- ・グループホームにおける事案が目立つように感じるが、グループホームの指導監査を積極的に進めることや、グループホーム事業者間での相互チェック体制などを今後検討したらどうか。

(3) その他

（事務局）児童発達支援センターの開設に向けた検討について、今後相談支援部会を開催し、検討を始めるとしたい。

5 その他

(1) 協議会の開催日程について

令和５年度第１回青梅市障害者地域自立支援協議会

令和５年５月１５日（月）午後２時～午後４時

青梅市役所２階 ２０５・２０６会議室

以 上

「第 6 期青梅市障害者計画・第 7 期青梅市障害福祉計画・第 3 期青梅市障害児福祉計画」策定のためのアンケート調査

1 障害者基礎調査

(1) 対象

市内在住の身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳または難病医療費助成受給者証の交付を受けている方、2,000 人

(2) 調査期間 令和 5 年 4 月中旬～5 月中旬

(3) 調査方法 郵送およびインターネット回答（予定）

(4) 調査内容と目的

以下の項目を調査することで、障害の状況や程度に応じた課題、将来の希望を抽出し、次期計画の目標設定、数値指標設定の資料とします。

ア 医療・健康について

→かかりつけ医の有無や通院時の課題、希望を調査

イ 収入・住まいについて

→収入や住まいの違いによる課題、社会参加への影響、将来の希望を調査

ウ 支援の状況について

→支援の程度に応じた課題の抽出、希望を調査

エ 日中活動・外出について

→日中活動・外出時の課題の抽出、希望を調査

オ 障害福祉サービス・相談支援について

→サービス・相談支援の利用状況と希望を調査

カ 地域とのつながりについて

→地域定着の状況と希望を調査

キ 差別解消・権利擁護について

→当事者が感じる差別等の状況を調査

ク 災害対応について

→災害対策の状況を調査

ケ 福祉施策について

→当事者が望む福祉施策を調査

2 障害福祉サービス事業所アンケート調査

(1) 対象

市内に所在する障害福祉サービス事業所（児童通所支援等を含む）
約 90 事業所

(2) 調査期間 令和 5 年 4 月中旬～ 5 月中旬

(3) 調査方法 メールまたは F A X 回答（予定）

(4) 調査内容と目的

事業所運営の課題、サービスの提供状況とサービス提供上の課題等を調査することで、次期計画の数値目標設定における資料、事業所配置計画の目標設定の資料とします。

青梅市の障害者計画策定のための基礎調査

この調査は、「第6期青梅市障害者計画・第7期青梅市障害福祉計画・第3期青梅市障害児福祉計画（令和6年度～）」の策定にあたり、障害のある方が現在、どのように生活されているのか、また、どのようなサービスや取組を必要とされているかといった「声」をお聞かせいただくために実施します。

皆様からお聞きしましたご意見は、計画策定の貴重な資料となりますので、お忙しいところ、短い期間で大変申し訳ございませんが、ご協力くださいますようお願いいたします。

※ 調査の対象者は、「身体障害者手帳」や「愛の手帳（療育手帳）」、「精神障害者保健福祉手帳」、「難病医療費助成受給証」をお持ちの方の中から、無作為に選びました。ご回答の内容は、この調査の目的以外には使いません。また、お名前の記入もありませんのでご安心ください。

※

令和5年4月

きにゆう ねが
記入にあたってのお願い

- 1 この調査は、ご本人におうかがいするものですが、ご本人が回答できない場合は、ご家族や支援（介助や手助け）をされている方が、ご本人の立場にたってご記入ください。
- 2 回答にあたっては、令和5年4月1日現在の状況でご記入ください。
- 3 回答は、あてはまると思う番号を○印で囲んでください。
○の数が決められている質問（例えば、「3つまで・・・」）は、その数だけ○印をつけてください。また、質問によっては、四角の中に数字やご意見等を書くものもあります。
- 4 「その他」に○印をつけられた方は、（ ）内に具体的な内容を簡単に文章で書いてください。
- 5 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や断り書きに注意してください。

きにゆう お ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう きってふよう い
記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

がつ にち ようび
5月〇〇日〇曜日までに とうかん
ご投函ください。

ちょうさ しつもん ふめい てん と あ つぎ と あ さき ねが
調査についてのご質問、不明な点についてのお問い合わせは、次の問い合わせ先までお願いいたします。

と あ さき
問い合わせ先

おうめ しけんこうふくし ぶしょう しゃふくしか でんわばんごう ないせん
青梅市健康福祉部 障がい者福祉課 電話番号 0428（22）1111（内線2135）

★この調査票はどなたが記入されますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

1	本人が自分一人で記入
2	本人に聞いて家族や支援者等が代筆
3	本人の意向を考えながら家族や支援者が記入

★本人から見て、記入者はどなたですか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

1	配偶者	2	父母	3	子供
4	兄弟姉妹	5	その他の家族	6	施設職員
7	その他 ()				
★差し支え無ければ、年齢と年齢 (歳)					
性別をご記入ください。性別 (男・女)					

《はじめに、あなた自身のことについておうかがいします》

この調査は、年齢や性別、お住まいの地区やご家族の状況によって、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問1 あなたの性別と年齢をおうかがいします。

性別

1 男性

2 女性

年齢

歳

(令和5年4月1日現在)

問2 あなたは、どの地区にお住まいですか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

1	青梅地区	勝沼・西分町・住江町・本町・仲町・上町・森下町・裏宿町・ 天ヶ瀬町・滝ノ上町・大柳町・日向和田
2	長淵地区	駒木町・長淵・友田町・千ヶ瀬町
3	大門地区	吹上・野上町・大門・塩船・谷野・木野下・今寺
4	梅郷地区	畑中・和田町・梅郷・柚木町
5	沢井地区	二俣尾・沢井・御岳本町・御岳・御岳山
6	小曾木地区	富岡・小曾木・黒沢
7	成木地区	成木
8	東青梅地区	東青梅・根ヶ布・師岡町
9	新町地区	新町・末広町
10	河辺地区	河辺町
11	今井地区	今井・藤橋

問3 あなたの世帯の家族構成をおうかがいします。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | | | |
|---|---------------|---|----------------|
| 1 | ひとり暮らし | 2 | 夫婦のみ |
| 3 | 親子二世帯の世帯 (人) | 4 | 親子孫三世帯の世帯 (人) |
| 5 | その他の世帯 () | | |

《あなたの持っている手帳、受給者証についておうかがいします》

※ 手帳を2つ以上お持ちの方は、それぞれ該当する質問にお答えください。

この調査は、手帳の種類や等級によって、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

《身体障害者手帳をお持ちの方》

問4 身体障害者手帳の現在の所持状況についておうかがいします。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 1級	2 2級	3 3級
4 4級	5 5級	6 6級

(1) 手帳に記載された障害の内容はどれですか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 肢体不自由	2 視覚障害
3 聴覚障害	4 平衡機能障害
5 音声、言語、そしゃく機能障害	6 内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、膀胱、直腸、小腸、肝臓、免疫機能の障害)

(2) 【(1)で2つ以上に○印をつけた方におうかがいします】主な障害を1つご記入ください。

主な障害の種類(1～6の番号をご記入ください。)

(3) 身体障害者手帳を初めて取得したのは何歳ごろですか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 0歳	2 1～3歳	3 4～9歳
4 10代	5 20代	6 30代
7 40代	8 50代	9 60代
10 70歳以上	11 わからない	

あい てちょう も かた
《愛の手帳をお持ちの方》

問5 愛の手帳の現在の所持状況についておうかがいします。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 1度	2 2度	3 3度	4 4度
------	------	------	------

(1) 愛の手帳を初めて取得したのは何歳ごろですか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 0～3歳	2 4～6歳	3 7～12歳
4 13～18歳	5 19～29歳	6 30歳以上
7 わからない		

せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう も かた
《精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方》

問6 精神障害者保健福祉手帳の現在の所持状況についておうかがいします。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 1級	2 2級	3 3級
------	------	------

(1) 精神障害者保健福祉手帳を初めて取得したのは何歳ごろですか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 10歳未満	2 10～14歳	3 15～19歳
4 20～24歳	5 25～29歳	6 30代
7 40代	8 50代	9 60代
10 70歳以上	11 わからない	

問7 自立支援医療（精神通院医療、更生医療、育成医療）制度を利用していますか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 利用している	2 知っているが利用していない	3 利用していない
----------	-----------------	-----------

なんびょういりょうひじよせいじゅきゅうしやしょう も かた
《難病医療費助成受給者証をお持ちの方》

問8 げんざい かん 現在り患している難病名なんびょうめい きにゅうを記入してください。

なんびょうめい
難病名

問9 なんびょう しんだん う 難病の診断を受けたのはいつですか。

- | | | | | | |
|----|-----------------|----|--------------|---|--------------|
| 1 | さいみ まん
10歳未満 | 2 | さい
10～14歳 | 3 | さい
15～19歳 |
| 4 | さい
20～24歳 | 5 | さい
25～29歳 | 6 | だい
30代 |
| 7 | だい
40代 | 8 | だい
50代 | 9 | だい
60代 |
| 10 | さいいじょう
70歳以上 | 11 | わからない | | |

にんていじょうきょう
《認定状況についておうかがいします》

この調査は、障害福祉サービスと介護保険サービスを受けている方が支援の程度によって、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問10 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 受けている	2 受けていない →問11へ進む
---------	------------------

(1) 【問10で「1」に○印をつけた方におうかがいします。】障害福祉サービス受給者証に記載された区分をおうかがいします。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 8歳未満の方

1 区分1	2 区分2	3 区分3
4 わからない		

1 8歳以上の方

1 区分1	2 区分2	3 区分3
4 区分4	5 区分5	6 区分6
7 わからない		

問11 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 受けている	2 受けていない
---------	----------

(1) 【問11で「1」に○印をつけた方におうかがいします。】介護保険の保険証に記載された程度をおうかがいします。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 要支援1	2 要支援2	3 要介護1
4 要介護2	5 要介護3	6 要介護4
7 要介護5	8 わからない	

く じょうきょう
《暮らしの状況についておうかがいします》

この調査は、収入の内容や収入状況が、障害福祉サービスの利用状況や社会参加などに、どのような課題や影響があるのかを調べるものです。

問12 あなたの収入はどれにあたりますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 給与・賃金	2 財産収入
3 家族等からの仕送り	4 障害年金 (1 級、2 級、3 級)
5 年金 (老齢・退職・遺族・障害年金以外)	6 障害者手当
7 生活保護を受けている	8 家族に扶養されている
9 工賃 (就労移行支援A型・B型等)	10 その他 ()

いりょう けんこう
《医療や健康についておうかがいします》

この調査は、かかりつけの医療機関があるか、どのような方法で通っているか、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問13 あなたの現在の健康状態はいかがですか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 健康である	2 医院、病院に通院している
3 自宅で往診や訪問看護を受けている	4 入院している
5 その他 ()	

↓
(1) 【問13で「2」に○印をつけた方におうかがいします。】通院の際、主に利用する交通手段は何ですか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 徒歩	2 車いす (電動車いすを含む)
3 鉄道・バスなどの公共交通機関	4 自家用車 (自分で運転)
5 自家用車 (家族が運転)	6 タクシー
7 福祉バス等	8 自転車、バイク
9 その他 ()	

問14 あなたの体調が優れないときにかかりつけの医院、病院がありますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 ある	2 ない
------	------

問15 あなたは、医院、病院を利用したり、自宅で治療を受けたりするときに、何か困ったことがありますか。
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 医院、病院が近所にな
2 障害についての専門医療機関がない
3 治療の説明が不十分である
4 医療や訓練、健康に関する相談が気軽にできない
5 医院、病院に行くまでの交通手段が整備されてない
6 通院時に付き添いをしてくれる人がいない
7 入院先が見つからない
8 その他 ()

問16 あなたは、過去1年間に健康診断を受けましたか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 勤務先で健康診断を受けた	2 学校や福祉施設で健康診断を受けた
3 その他機関(市の健診等)で健康診断を受けた	4 人間ドックを受けた
5 健康診断は受けていない	

【問16で「5」に○印をつけた方におうかがいします。】

問17 健康診断を受けなかった理由は、何ですか。
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 学校を卒業したから	2 会社、作業所をやめたから
3 入所施設を退所したから	4 グループホームを退所したから
5 支援してくれる人がいないから	6 診てくれる病院がないから
7 その他()	

問18 あなたは、歯の具合が悪いときのかかりつけの歯科医院などがありますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 ある	2 ない
3 かかりつけの訪問歯科医院がある	4 その他()

問19 あなたは、過去1年間に歯科検診を受けましたか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 かかりつけの歯科医院、病院で受けた	2 かかりつけの歯科医院、病院ではないが受けた
3 受けていない	

【問19で「3」に○印をつけた方におうかがいします。】

問20 受けなかった理由は、何ですか。
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 学校を卒業したから	2 会社、作業所をやめたから
3 入所施設を退所したから	4 グループホームを退所したから
5 支援してくれる人がいないから	6 診てくれる歯科医院、病院がないから
7 その他()	

《お住まいについておうかがいします》

この調査は、社会生活を営むにあたって、どのような住まい環境なのかということから、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問21 あなたの住まいは、次のどれにあてはまりますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 持家 (一戸建て住宅) | 2 持家 (マンション等) |
| 3 借家 | 4 民間賃貸アパート・マンション |
| 5 公社、公団賃貸住宅 | 6 市営、都営住宅 |
| 7 社宅、公務員住宅 | 8 福祉施設 (グループホーム除く) |
| 9 グループホーム等の共同生活の場 | 10 その他 () |

問22 あなたの住宅についてお困りのところはありますか。
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 玄関等入り口が狭い | 2 トイレが使いづらい |
| 3 浴室、洗面所が使いづらい | 4 廊下が狭く移動が困難である |
| 5 階段や室内の段差に苦勞する | 6 自分専用の部屋がない |
| 7 その他 () | 8 特にない |

問23 あなたは、将来、どのような住まい方 (住み方) を望みますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 自宅で家族等といっしょに暮らしたい | 2 アパートなどで一人で暮らしたい |
| 3 グループホーム等で共同生活がしたい | 4 入所施設に入りたい |
| 5 医療施設に入りたい | 6 その他 () |

《支援の状況についておうかがいします》

この調査は、社会生活や日常生活を行うにあたって、どの程度の支援（介助や手助け）が必要なのかを調べることで、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問24 あなたは、日常生活（入所施設も含む。）の中で、どれくらい自分でできますか。
（ア～タの各項目の番号に○印を1つだけつけてください。）

ア 食事を作ること	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
イ 食事をすること	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
ウ 排泄すること	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
エ 着替えをすること	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
オ 入浴すること	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
カ 室内の移動	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
キ 外出の際の移動・通院	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
ク 買い物をする	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
ケ 掃除をする	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
コ 洗濯をする	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
サ お金の管理	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
シ 服薬の管理	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
ス 各種申請等の手続	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
セ 意思の疎通	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
ソ 緊急時の避難・連絡	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる
タ その他（ ）	1 支援が必要	2 少し支援が必要	3 自分でできる

次は14ページの（1）へ進む

- (1) 【問24の^{かくこうもく}ア～タの各項目で、「1」または「2」に○印^{しるし}をつけた方^{ほう}におうかがいします。】
 あなたを^{かいご}介護している方^{かた}または支援^{しえん}している方^{かた}は主^{おも}にどなたですか。
 (番号に○印^{しるし}を1つだけつけてください。)

1 ^{はいぐうしゃ} 配偶者	2 ^{おや} 親	3 ^{こども} 子供
4 ^{こども はいぐうしゃ} 子供の配偶者	5 ^{きょうだいしまい} 兄弟姉妹	6 ^{た しんせき} その他の親戚
7 ^{きんじょ ひと ゆうじん ちじん} 近所の人、友人、知人	8 ^{ホームヘルパー} ホームヘルパー	9 ^{にゅうしよしせつしよくいん} 入所施設職員
10 ^{グループホーム職員} グループホーム職員	11 ^{かいごしゃ} 介護者はいない	12 ^た その他 ()

- (2) 【(1) で「1」～「7」のいずれかに○印^{しるし}をつけた方^{ほう}におうかがいします。】
 あなたを主^{おも}に^{かいご}介護している方^{かた}または支援^{しえん}している方^{かた}の年齢^{ねんれい}は何歳^{なんさい}ですか。
 (番号に○印^{しるし}を1つだけつけてください。)

1 ^{だい} 20代	2 ^{だい} 30代	3 ^{だい} 40代
4 ^{だい} 50代	5 ^{だい} 60代	6 ^{だい} 70代
7 ^{さいいじょう} 80歳以上		

- (3) 【(1) で「1」～「7」のいずれかに○印^{しるし}をつけた方^{かた}におうかがいします。】
 主な介護者^{おも}または支援者^{かいごしゃ}が病気^{しえんしや}や緊急時^{びょうき}などで、あなたの介護^{きんきゅうじ}や支援^{かいご}ができない場合^{しえん}どう
 うされましたか。
 (あてはまるすべての番号に○印^{しるし}をつけてください。)

1 ^{どうきょ} 同居している家族 ^{かぞく} に頼 ^{たの} んだ	2 ^{べつきょ} 別居している家族 ^{かぞく} や親戚 ^{しんせき} に頼 ^{たの} んだ
3 ^{きんじょ ひと ゆうじん ちじん} 近所の人、友人、知人 ^{たの} に頼 ^{たの} んだ	4 ^{かいごほけんせいど} 介護保険制度 ^{しょうがいしやそうごうしえんほうじょう} や障害者総合支援法 ^{りよう} 上のヘルパーを利用 ^{りよう} した
5 ^{し きんきゅういちじほ} 市の緊急一時保護事業 ^{ごじぎょう} を利用 ^{りよう} した	6 ^{いがい} 4以外のヘルパー ^{りよう} を利用 ^{りよう} した
7 ^{しせつにゅうしよ} 施設入所 ^{びょういん} または病院 ^{にゅういん} に入院 ^{にゅういん} した	8 ^た その他 ()
9 ^{いま} そのようなことは今までにない	

- (4) 主な介護者^{おも}または支援者^{かいごしゃ}がいろいろな事情^{しえんしや}で、あなたの介護^{じじょう}や支援^{かいご}することができなくな
 ったりしたときにあなたが必要^{ひつよう}だと思う^{おも}ことは何^{なに}ですか。
 (あてはまるすべての番号に○印^{しるし}をつけてください。)

1 ^{ほか しんぞく} 他の親族 ^{しえん} からの支援	2 ^{ひつよう} 必要な支援 ^{しえん} やサービス ^う を受けること
3 ^{にゅうしよしせつ} 入所施設 ^{にゅうきょ} への入居	4 ^{グループホームへの入居} グループホームへの入居
5 ^{せいねんこうけんせいど} 成年後見制度 ^{りよう} の利用	6 ^{みじか もんだい} 身近な問題 ^{そうだん} を相談 ^ば できる場
7 ^{けんこうかんり} 健康管理 ^{サービス} をしてくれるサービス	8 ^{ちいき} 地域 ^{さんか} とのつながりやコミュニティ参加
9 ^{とく} 特 ^{とく} にない	10 ^た その他 ()

にっちゅう かつどう
《日中の活動についておうかがいします》

この調査は、社会生活や日常生活を行うにあたって、どの程度日中の活動を行っているかを調べることで、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問25 あなたは日中、主にどのように過ごしていますか。

(一週間に1日または2日程度の活動でも、自分が主に活動していると感じているものをおうかがいします。)(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | | |
|---|--|---------------|
| 1 | 保育園、学校等に通園・通学している | → 問26へ進む |
| 2 | 就労支援・継続施設(A型・B型)等で働いている | → 16ページ問27へ進む |
| 3 | 正規社員として働いている | |
| 4 | パートやアルバイトとして働いている | |
| 5 | 自宅で働いている(自営業を含む) | |
| 6 | 自立訓練(生活訓練)、生活介護、児童発達支援、デイサービス等で訓練・支援を受けている | |
| 7 | 医療機関や福祉施設などで看護・介護を受けている | |
| 8 | 日中活動は利用していない | |
| 9 | その他() | |

問26 【問25で「1」に○印をつけた方におうかがいします。】

(1) どちらに通園または通学していますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | | | |
|---|----------------|---|----------------|
| 1 | 保育園 | 2 | 幼稚園 |
| 3 | 小学校(特別支援学級を含む) | 4 | 中学校(特別支援学級を含む) |
| 5 | 盲・ろう・特別支援学校 | 6 | 高等学校 |
| 7 | 専門学校等 | 8 | 大学、短期大学 |
| 9 | その他() | | |

(2) 卒園・卒業後の進路はどのように考えていますか。(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | | | |
|---|----------------|---|-------------------|
| 1 | 小・中学校に進学したい | 2 | 高等学校に進学したい |
| 3 | 大学、短期大学に進学したい | 4 | 盲・ろう・特別支援学校に進学したい |
| 5 | 作業所や通所施設を利用したい | 6 | 専門学校等に進学したい |
| 7 | 企業等で社員として働きたい | 8 | その他() |
| 9 | わからない | | |

(3) (2) の選択についてどのように感じますか。ご自由にご記入ください。

(自由記載欄)

問27 【問25で「2」～「5」に○印をつけた方におうかがいします。】

現在、働いている方におうかがいします。あなたが働く上で困っていることはありますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 通勤が大変 | 2 収入が少ない |
| 3 仕事がきつい | 4 休みが少ない |
| 5 勤務時間が長い | 6 職場で障害についての理解が少ない |
| 7 施設内（トイレ等）の設備が不十分 | 8 職場内に相談できる人がいない |
| 9 特に問題点はない | 10 その他（ ） |

問28 現在の日中の活動はどのような方法で見つけましたか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 公共職業安定所（ハローワーク） | 2 障害者就労支援センターの紹介 |
| 3 市役所の相談窓口の紹介 | 4 学校の紹介 |
| 5 家族や親族の紹介 | 6 自分で探した |
| 7 職業訓練校の紹介 | 8 相談支援事業者の紹介 |
| 9 福祉施設の紹介 | 10 その他（ ） |

問29 現在の日中の活動を選択する（選ぶ）ことに、困難さ（大変だったこと）はありましたか。

それは、どのようなことでしたか。ご自由にご記入ください。

(自由記載欄)

問30 障害のある人が働くためには、どのような環境が必要だと思いますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 周囲が自分の障害を理解してくれること | 2 障害にあった仕事であること |
| 3 勤務時間や日数を調整できること | 4 職場に良き指導者や先輩がいること |
| 5 通勤手段があること | 6 ジョブコーチ（※1）等の制度があること |
| 7 賃金が妥当であること | 8 通院等を会社等が保障してくれること |
| 9 勤務場所に障害者用の設備があること | 10 就労のための技術を身に付けられること |
| 11 自宅で仕事ができる環境であること | 12 その他（ ） |

（※1） ジョブコーチ（職場適応援助者）とは、障害のある方の働いている職場へ付き添い、職場の中で人間関係や労働習慣の習得、コミュニケーションの仲立ち等をお手伝いし、一人で仕事ができるまで手助けする指導員のことです。事業所の方に対する受入れ体制整備等の助言も行います。

問31 あなたは日中、どのような過ごし方を希望しますか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | |
|-----------------|
| 1 現在の活動場所で過ごしたい |
| 2 違った過ごし方をしたい |

(どんな過ごし方をしたいか具体的にご記入ください。)

がいしゅつじょうきょう
《外出状況についておうかがいします。》

この調査は、^{ちやうさ}社会生活や^{しゃかいせいいかつ}日常生活^{にちじやうせいいかつ}を行う^{おこな}うにあたって、どの^{ていど}程度の^{がいしゅつ}外出^{しら}をするのかを調べることで、どのような^{かだい}課題^{かんが}があり、どのような^{きぼう}お考え^{しら}やご希望があるのかを調べるものです。

問32 あなたの^{がいしゅつとう}外出等^{にちじやうてき}（日常的な通園、通学、仕事等は除く）についておうかがいします。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

1	ほとんど ^{まいきゅうじつ} 毎休日	2	月に ^{つき} 3～5日 ^{にち}	3	月に ^{つき} 1～2日 ^{にち}
4 ほとんど ^{がいしゅつ} 外出 ^し しない → (6) へ進む					

(1) 【問32で「1」～「3」のいずれかに○印^{しるし}をつけた方^{かた}におうかがいします。】

どのような^{もくてき}目的^{がいしゅつ}で外出^ししますか。

(あてはまるすべての番号に○印^{しるし}をつけてください。)

1	買い物 ^{かもの}	2	散歩 ^{さんぽ}
3	趣味、遊び、スポーツ ^{しゆみあそび}	4	通院 ^{つういん}
5	サークル、団体活動 ^{だんたいかつどう}	6	各種申請、手続 ^{かくしゅしんせい てつづき}
7	その他 ()		

(2) 上記(1)の外出^{じやうき}の際^{がいしゅつ}に利用^{さい}する交通手段^{りやう}は何^{こうつうしゅだん}ですか。^{なに}

(あてはまるすべての番号に○印^{しるし}をつけてください。)

1	徒歩 ^{とほ}	2	車いす (電動 ^{くるま} 車 ^{でんどうくるま} いすを含む ^{ふく})
3	鉄道・バスなどの公共交通機関 ^{てつどうこうきやうこうつうきかん}	4	自家用車 (自分で運転 ^{じかようしゃ じぶん うんてん})
5	自家用車 (家族が運転 ^{じかようしゃ かぞく うんてん})	6	タクシー
7	福祉バス等 ^{ふくしとう}	8	自転車、バイク ^{じてんしゃ}
9	その他 ()		

(3) 外出^{がいしゅつ}の際^{さい}に、困^{こま}ったり不便^{ふべん}に思^{おも}うことはありますか。

(あてはまるすべての番号に○印^{しるし}をつけてください。)

1	電車などの交通機関の利用が不便 ^{でんしゃ こうつうきかん りやう ふべん}
2	自家用車を利用するのに駐車場の不備または少ない ^{じかようしゃ りやう ちゆうしゃじやう ふ び}
3	歩道に問題が多い (狭い、障害物、誘導ブロックの不備など) ^{ほどう もんだい おお せま しょうがいぶつ ゆうどう ふ び}
4	建物内の設備が利用しにくい (階段、トイレ、案内表示など) ^{たてものない せつび りやう かいだん あんないひょうじ}
5	身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない ^{みじか こうえん ほどう きゆうけい ばしょ すく}
6	外出にお金がかかりすぎる ^{がいしゅつ かね}
7	介助者がいない ^{かいじょしや}
8	その他 ()
9	特にない ^{とく}

(4) 【問32で「1」～「3」のいずれかに○印をつけた方におうかがいします。】

移動や外出にかかわるサービス(移動支援、行動援護、同行援護、重度訪問介護)を知っていますか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 知っている

2 知らない

(5) 移動や外出にかかわるサービスをどのくらい利用していますか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 毎週、利用している

2 月に4、5回程度、利用している

3 月に1、2回程度、利用している

4 まったく、利用していない

5 利用したいが、利用する事業者がない

6 知らなかったが、あれば利用したい

7 その他 ()

(6) 【問32で「4」に○印をつけた方におうかがいします。】

外出をしない理由は何ですか。(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 道路や階段が不便・危険

2 乗り物の利用が困難

3 トイレが心配

4 介護者がいない

5 お金がかかる

6 家族に負担がかかる

7 障害が重い

8 人の視線が気になる

9 人と会話ができない

10 外出が面倒だ

11 その他 ()

しょうがいふくし
《障害福祉サービスについておうかがいします》

この調査は、障害福祉サービスについて調べることで、どのような課題があり、どのような考えやご希望があるのかを調べるものです。

問33 障害者総合支援法、児童福祉法の福祉サービスについて、あなたの利用状況をお答えください。（1～28までのそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」で両方の、1か2のどちらかの番号に○印をしてください。）

		げんざいりよう 現在利用 しているか		こんごりよう 今後利用 したいか	
		りよう 利用 している	りよう 利用 していない	りよう 利用 したい	りよう 利用 したくない
かい 護 給 付	1. 居宅介護（ホームヘルプ） じたく にゆうよく はい しょくじ かいごとう おこな 自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	1	2
	2. 重度訪問介護 じゅうど したいふじゆうしゃ つね かいご ひつよう ひと じたく 重度の肢体不自由者で、常に介護を必要とする人に、自宅で、 にゆうよく はい しょくじ かいご がいしゅつじ いどうしえんとう そうごうてき 入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援等を総合的 におこな に行います。	1	2	1	2
	3. 同行援護 じかくしょうがい いどう いちじる こんなん ゆう ひと いどう ひつよう 視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な じょうほう ていきよう だいひつ だいどく ふく いどう えんごとう がいしゅつ おこな 情報の提供（代筆・代読を含む）、移動の援護等の外出を行 います。	1	2	1	2
	4. 行動援護 じ こ はんだんのうりよく せいげん ひと こうどう 自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避 するに必要な支援、外出支援を行います。	1	2	1	2
	5. 重度障害者等包括支援 かいご ひつようせい たか ひと きょたくかいごとうふくすう 介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスの ほうかつてき おこな 包括的に 行います。	1	2	1	2
	6. 生活介護 つね かいご ひつよう ひと ひるま にゆうよく はい しょくじ かいごとう 常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等 そうさくてきかつどう せいさんかつどう きかい ていきよう や、創作的活動または生産活動の機会を提供します。	1	2	1	2
	7. 療養介護 いりよう じょうじかいご ひつよう ひと いりようきかん きのうくんれん りょうようじょう 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上 かんり かんご かいご にちじょうせいかつ せ わ おこな の管理、看護、介護および日常生活の世話を 行います。	1	2	1	2

		現在利用 しているか		今後利用 したいか	
		利用 している	利用 していない	利用 したい	利用 したくない
介護 給付	8. 短期入所 自宅で看護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	1	2
	9. 施設入所支援 施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	1	2	1	2
訓練 等 給付	10. 自立訓練（機能訓練） 自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2
	11. 自立訓練（生活訓練） 自立した日常生活または社会生活ができるよう一定期間、生活能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2
	12. 就労移行支援 一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2
	13. 就労継続支援（A型）（雇用型） 一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2
	14. 就労継続支援（B型）（非雇用型） 一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2
	15. 就労定着支援 生活介護、自立訓練、就労移行支援または就労継続支援を利用して一般就労した人に、利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関の連絡調整等を行います。	1	2	1	2
	16. 自立生活援助 障害者支援施設やグループホーム、精神科病院等を利用して一人暮らしを希望する人に、定期的に訪問を行い、日常生活における課題を把握し、必要な情報の提供や助言、関係機関との連絡調整等の支援を行います。	1	2	1	2

		現在利用 しているか		今後利用 したいか	
		利用 している	利用 していない	利用 したい	利用 したくない
	17. 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。	1	2	1	2
相談支援事業	18. 計画相談支援・障害児相談支援 障害福祉サービス等利用計画の作成、および支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行います。	1	2	1	2
	19. 地域移行支援 入所施設に入所している方に、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談、地域移行のための障害福祉サービス事業所等への同行支援等を行います。	1	2	1	2
	20. 地域定着支援 居宅で単身等で生活する方で、地域生活を継続していくための支援体制が必要な方に、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に緊急訪問や緊急対応等の各種支援を行います。	1	2	1	2
地域生活支援事業	21. 移動支援 社会に参加する利用目的を持つ方で、障害によって一人での外出ができない場合、目的地まで同行する支援を行います。ただし、通勤や通学、通院等の通年にわたる利用目的は除きます。	1	2	1	2
	22. 地域活動支援センター（青梅市障がい者サポートセンター） 創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流等の促進等を行います。	1	2	1	2
	23. 日中一時支援事業 家族等が、一時的に自宅で介護等が行えなくなった場合に宿泊を伴わない日中の時間の介護を行います。	1	2	1	2
障害児通所支援	24. 児童発達支援 障害児（未就学児）が施設に通所し、日常生活における基本的な動作の指導および集団生活への適応訓練を行います。	1	2	1	2
	25. 医療型児童発達支援 肢体不自由のある児童を対象に、医療型児童発達支援センターまたは指定医療機関等に通所または通院し、児童発達支援および治療を行います。	1	2	1	2

		現在利用 しているか		今後利用 したいか	
		利用 している	利用 していない	利用 したい	利用 したくない
障害児 通所支援	26. 放課後等デイサービス 学校（幼稚園および大学を除く。）に就学している障害児について、授業の終了後または休日に児童発達センター等の施設に通所し、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流の促進、その他必要な支援を行います。	1	2	1	2
	27. 保育所等訪問支援 保育所その他の集団生活を営む施設等に通う障害児について、施設を訪問し、施設における障害児以外の児童との集団生活の適応のための専門的な支援等を行います。	1	2	1	2
	28. 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害等により外出が困難な障害児について、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与および生活能力の向上のために必要な訓練を行います。	1	2	1	2

問34 日常生活を営む上で必要とする支援は、次の中にありますか。
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 障害福祉サービスについての情報提供、相談	2 日常生活用具（ストマ装具、紙おむつ、点字図書など）の給付
3 手話通訳者・要約筆記者の派遣	4 福祉バスなど（リフト付き自動車）の運行
5 ガイドヘルパーの派遣	6 就労移行支援施設等の充実
7 スポーツ教室、芸術・文化講座などの開催	8 運転免許取得や自動車改造費用の助成
9 障害児の緊急一時保護	10 入浴サービス
11 この中ではない	

問35 【問34で「11」に○印をつけた方におうかがいします。】
日常生活を営む上で必要とする支援について、ご記入ください。

しょうがいふくし じょうほうていきょう そうだんしえん
 《障害福祉サービスなどの情報提供・相談支援についておうかがいします》

この調査は、障害福祉サービスなどの情報提供の方法や相談支援の内容について調べること
 で、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問36 あなたは、障害福祉サービスなどの情報をどこから知りたいですか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 広報・しおり等 (青梅市、東京都)	2 家族、親戚
3 テレビ、ラジオ、新聞、インターネット	4 市役所の窓口
5 学校、職場、施設	6 医療機関
7 民生児童委員、障害者相談員等	8 ホームヘルパー、ボランティア
9 障害がいしゃサポートセンター	10 障害者就労支援センター
11 障害者団体	12 その他 ()

問37 あなたは、市内の相談機関に相談したことがありますか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 ある	2 ない
------	------

問38 あなたは、市内の相談機関に相談したいことはありますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 福祉サービスの利用に関すること	2 家族関係に関すること
3 就労(仕事)に関すること	4 財産や金銭管理に関すること
5 結婚に関すること	6 仲間づくりに関すること
7 一人暮らしに向けての方法に関すること	8 医療や訓練に関すること
9 一般住宅の賃貸契約の際の保証人に関すること	10 成年後見制度(※2)の利用に関すること
11 その他 ()	12 特にない

(※2) 成年後見制度とは、物事を判断する能力が十分ではない方について、
 本人の権利を守る援助者(「成年後見人」等)を選ぶことで、本人を法的に支援
 する制度です。

問39 こうれいしゃ しょうがいしゃ じ どういつ じぎょうしょ
 高齢者と障害者（児）が同一の事業所で、ホームヘルプサービス、デイサービス、ショ
 ートステイなどのサービスを受けることができる 共生型サービスや基準該当サービスが
 そうせつ 創設されました。こうれいかいごしせつどう しょうがいふくし しょうがいふくし
 高齢介護施設等で障害福祉サービスが提供されたら、利用したいですか。
 ばんごう 番号に○印を1つだけつけてください。）

1 せつきよくてき りよう 積極的 (せつきよくてき) に利用 (りよう) したい	2 りよう 利用 (りよう) してみたいと思う (おも)
3 りよう ふあん 利用 (りよう) には不安 (ふあん) がある	4 できれば利用 (りよう) したくない
5 わからない	6 その他 ()



問39で3または4とお答えの方におうかがいします。

問40 どのような不安(ふあん)がありますか。
 (あてはまるすべての番号に○印(ばんごう しるし)をつけてください。)

1 どのようなサービスが使えるのかわから ない	2 しょうがいしゃ こうれいしゃ 障害者 (しょうがいしゃ) と高齢者 (こうれいしゃ) では、支援 (しえん) の仕方 (しかた) が違 (ちが) う と思う (おも)
3 しょうがい とくせい 障害 (しょうがい) の特性 (とくせい) をどこまで理解 (りかい) してもらえる	4 てつづ 手続き (てつづ) をどうしたらいいかわからない
5 その他 ()	

問41 しょうがい しょうがい しょうがい しょうがい
 障害サービス提供時に、配慮(きんゆう)してほしいことについて記入(きんゆう)してください。

ちいき

ちょうさ

ばんごう

1 ある

12 ない

10 777

ばんごう

1 現状のままでよい

12 地域の方々とお付き合いをしたい

44 755

さべつ かいしょう けんりようご
《差別の解消や権利擁護について》

この調査は、障害のある方が日ごろ思っていることをおうかがいすることで、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問45 あなたは、今の生活に満足していますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 満足している | 2 満足していない |
| 3 どちらともいえない | |

問46 あなたやあなたの家族は、日常生活の中で障害者への差別や偏見を感じることがありますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | |
|------------|---------|
| 1 常を感じる | 2 時々感じる |
| 3 ほとんど感じない | 4 感じない |
| 5 わからない | |

▲ 問46で「1」「2」と答えた方には、その理由を記入してください。

問47 あなたは、外出時に知らない人から手助けをしてもらったことがありますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問48 あなたは、外出時に知らない人が困っているのを見かけたら、どうすることが多いですか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 助ける（声をかける） | 2 他者に応援を頼む |
| 3 特に何もしない | 4 その他（ ） |

問49 あなたは、^{ようしょうき}幼少期、^{がくれいき}学齢期において^{つうえん}通園、^{つうがくとう}通学等で^{こま}困ったことはありましたか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 ある	2 ない
------	------

(1) 【問49で「1」に○印をつけた方におうかがいします。】それはどんなことですか。^{こま}困ったことを具体的に^{ぐたいてき}記入^{きにゆう}してください。

--

問50 あなたは、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人のために^{きぎょう}企業や^{みんかんだんたい}民間団体が^{おこな}行^{かつどう}う活動についてどのようなことを^{きぼう}希望しますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 ^{じょせいきん} 助成金を活用した ^{しょうがいしゃこよう} 障害者雇用の ^{そくしん} 促進	2 ^{じぎょうぬし} 事業主への ^{そうだんたいせい} 相談体制の ^{せいび} 整備
3 ^{しょうがいしゃりかい} 障害者理解の ^{けんしゅう} 研修	4 ^{かりんきよう} バリアフリー環境の ^{せいび} 整備
5 ^{ぎやうむ} 業務の切り出しを通した ^{しょうがいしゃこよう} 障害者雇用の ^{そくしん} 促進	6 ^{てきせつ} 適切な ^{ほじょぐ} 補助具の ^{しやう} 使用
7 その他 ()	

問51 あなたは、^{なに}何か^{こま}困ったときに^{そうだん}相談できるところはありますか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 ある	2 ない
------	------

問52 【問51で「1」に○印をつけた方におうかがいします】^{だれ}誰に^{そうだん}相談しますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 ^{かぞく} 家族	2 ^{ゆうじん} 友人
3 ^{そうだんしえん} 相談支援事業所 ^{じぎやうしよ}	4 ^{しやくしよ} 市役所
5 ^{しよくば} 職場の ^{ひと} 人	6 その他 ()

さいがい じ たいおう
《災害時の対応についておうかがいします》

この調査は、障害のある方の災害時の状況をおうかがいすることで、どのような課題があり、どのようなお考えやご希望があるのかを調べるものです。

問53 あなたは地震や台風などの災害が発生した場合に、避難できますか。
(番号に○印を1つだけつけてください。)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 一人で避難できる | 2 介助者(家族)がいれば避難できる |
| 3 介助者(家族)がいても避難は難しい | |

問54 あなたは、災害に対してどのような準備をしていますか
(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

- | | |
|---------------------|---|
| 1 手助けをしてくれる人を頼んでいる | 2 「避難行動要援護者制度」の名簿提供に同意している |
| 3 地域の避難場所や避難所を知っている | 4 家族や支援者と避難方法を決めている |
| 5 食糧や水などを備蓄している | 6 避難したときに必要な薬、医療機器、補装具等の日常生活用具等すぐ持ち出せるように準備している |
| 7 「ヘルプカード」を利用している | 8 特に準備はしていない |
| 9 その他 () | |

問55 【問54 で「1」に○印をつけた方におうかがいします。】

あなたが手助けを頼んでいる人はどなたですか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1 民生委員 | 2 障害者団体 |
| 3 障害のサービスを受けている事業所等の職員 | 4 自治会や管理組合 |
| 5 隣近所の人 | 6 家族、親戚など |
| 7 友人や知人 | 8 その他 () |

問56 地域などの防災訓練に参加したことがありますか

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 ある	2 ない
3 防災訓練が行われてるかわからない	4 その他 ()

(1) 【問56で、「2」に○印をつけた方におうかがいします。】

防災訓練に参加しない理由は何ですか。

(番号に○印を1つだけつけてください。)

1 関心がない	2 訓練についていけるか不安である
3 今はまだ必要ないと思っている	4 その他 ()

問57 あなたは、地震や台風などの災害時に困ることはありますか。

(あてはまるすべての番号に○印をつけてください。)

1 頼れる人がいない
2 周囲の人への情報伝達
3 情報の収集
4 避難先への移動手段
5 避難先での食事、トイレ、入浴、コミュニケーション
6 避難先での介助、医療体制
7 困ることがあるかわからない
8 その他 ()

ふくししさく
《福祉施策についておうかがいします》

この調査は、障害のある方の行政への要望をおうかがいすることで、これから市が施策を実施するにあたっての貴重な資料とするものです。

問58 今後、行政に特に力を入れてほしい障害者福祉施策はどのような分野ですか。
(特に重要だと思う番号に○印を3つまでつけてください。)

1 各種相談・情報提供の充実	2 介助、援助体制の充実
3 グループホーム等の住宅施策の推進	4 就労移行支援事業所など福祉的就労の場の拡充
5 一般就労の援助、就労の場の確保	6 非常時の緊急システムの充実
7 障害児教育の充実	8 文化、スポーツ等の活動への支援
9 障害者差別解消に向けた理解促進および啓発	10 障害者等に配慮したバリアフリーの推進
11 ボランティア等の充実	12 その他 ()

★最後に、あなたが今、困っていることについてご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

青梅市障害者計画等策定のためのアンケート調査

日頃から青梅市の障害福祉施策に御理解・御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

青梅市では、令和6年度からの青梅市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画策定の基礎資料とするとともに、今後の障害福祉施策の推進に役立てるため、障害福祉サービス事業所に、事業状況や今後の事業展開、障害福祉施策に対する御意見や御要望をお伺いするためのアンケート調査を実施します。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査に御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、皆様から御回答いただいた内容は、障害福祉施策を推進するための基礎資料としてのみ活用し、その他の目的で使用されることは一切ありません。

この調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。

令和5年4月

御記入にあたって

1. できるだけサービスの管理者またはそれに準じる方が御記入ください。
2. この調査票で「貴事業所」とあるのは、宛名の事業所のことです。同じ経営主体が運営するその他の事業所等については、回答に含めないでください。
3. 障害福祉サービスについての調査ですので、介護保険サービス等は含めないでください。
4. F A Xで御回答いただく場合は、あてはまる番号に直接○をつけてお答えください。「その他」に回答する場合は、その内容を（ ）内に御記入ください。回答を記入していただく設問もありますので、その場合は設問の指示に従って御記入ください。
5. メールで御回答いただく場合は、回答票に記入してください。回答票の水色のセルに該当の番号を記入、その他や自由意見欄は、黄色のセルに入力してください。

記入した調査票は、恐れ入りますが、F A Xまたはメールにて、
令和5年5月〇〇日（〇）までに送付をお願いします。

F A X 0428-24-0358

e-mail div1520@city.ome.lg.jp

お問い合わせ先 青梅市 健康福祉部 障がい者福祉課

電話 0428-22-1111 内線 2135

FAX 0428-24-0358

1 事業所の概要について

問1 貴事業所の概要について、差し支えない範囲で御記入ください。

事業所の名称				
事業所の所在地				
事業所の職員数	名（常勤 名・非常勤 名）			
運営主体名	1	社会福祉法人	4	特定非営利活動法人（NPO 法人）
	2	医療法人	5	株式会社・有限会社・合同会社
	3	財団法人・社団法人	6	その他（ ）
本調査に関する連絡先	担当者名			
	電話番号			
貴事業所で実施しているサービス提供量全体のうちで、障害のある人に対するサービスが占める割合				%程度

問2 令和5年4月1日時点において、貴事業所が提供している障害のある人に対するサービスの種類、サービスの種類ごとの利用者（うち青梅市民人数）を御記入ください。なお、重複障害は主たる障害で計上してください。

（単位：人）

サービスの種類	区分	身体障害		知的障害		精神障害		その他(難病等)	
		全体	うち青梅市民	全体	うち青梅市民	全体	うち青梅市民	全体	うち青梅市民
(例)生活介護	成人	10	5	20	12	5	4	0	0
	児童								
	成人								
	児童								
	成人								
	児童								
	成人								
	児童								
	成人								
	児童								
	成人								
	児童								

※児童は、18歳未満の利用者としてください。

2 事業運営の概要について

問3 貴事業所を運営していくうえで問題となっていることは何ですか。
(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 職員の確保が難しい | 8 収益の確保が難しい |
| 2 職員の待遇改善ができない | 9 運転資金の調達が難しい |
| 3 職員のスキル向上が難しい | 10 他の事業者との連携が不十分 |
| 4 事務作業量が多い | 11 行政との連携が不十分 |
| 5 施設・設備の改善が難しい。 | 12 地域の理解を得るのが難しい |
| 6 制度改正などへの対応が難しい | 13 特にない |
| 7 定員に見合う利用者の確保が難しい | 14 その他 () |

問4 令和3年度に比べて、貴事業所における新規のサービス提供依頼者数の動向をお伺いします。(○は1つ)

1 かなり増えている
2 増えている

3 変わらない

4 減っている
5 かなり減っている

問5 問4で、「4 減っている」「5 かなり減っている」と回答した事業所にお伺いします。その理由と、講じている対策があれば御記入ください。

理 由	
講じている対策	

問6 問5で、「1 かなり増えている」「2 増えている」と回答した事業所にお伺いします。サービス提供依頼数には対応できていますか。(○は1つ)

- 1 対応できている
2 対応できていない
その理由 ()

3 サービスの提供について

問7 貴事業所では、サービスを提供する上で、課題となっていることは何ですか
(当てはまるものすべてに○)

- 1 量的に、利用者の希望通りに提供できない
- 2 質的に、利用者の希望通りに提供できない
- 3 契約やサービスに内容の説明が、利用者や家族に十分に理解していただけない
- 4 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
- 5 困難事例への対応が難しい
- 6 休日や夜間の対応が難しい
- 7 事故やその後の対応に関すること
- 8 重要事項説明や契約に関すること
- 9 情報管理に関すること
- 10 利用料に関すること
- 11 その他 ()

問8 貴事業所では、サービス向上のためにどのようなことに取り組んでいますか。
(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 内部の研修や講習会の開催 | 8 事業者独自の評価の実施 |
| 2 外部の研修や講習会への職員の派遣 | 9 利用者による評価の実施 |
| 3 職員の自主学習への支援 | 10 第三者機関による評価の実施 |
| 4 困難事例のケース検討会などの開催 | 11 事故防止対策の立案 |
| 5 サービス提供マニュアルの作成 | 12 利用者への説明の徹底 |
| 6 緊急時マニュアルの作成 | 13 特にない |
| 7 苦情や相談の受付体制の整備 | 14 その他 () |

問9 貴事業所では、今後、新規に参入を検討している障害福祉サービス等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 居宅介護 | 14 就労定着支援 |
| 2 重度訪問介護 | 15 共同生活援助（グループホーム） |
| 3 同行援護 | 16 施設入所支援 |
| 4 行動援護 | 17 相談支援事業 |
| 5 重度障害者等包括支援 | 18 コミュニケーション支援 |
| 6 自立生活援助 | 19 移動支援 |
| 7 生活介護 | 20 日中一時支援事業 |

- | | |
|-------------------|---------------|
| 8 自立訓練（機能訓練・生活訓練） | 21 地域活動支援センター |
| 9 就労移行支援 | 22 児童発達支援 |
| 10 就労継続支援（A型） | 23 放課後等デイサービス |
| 11 就労継続支援（B型） | 24 保育所等訪問支援 |
| 12 療養介護 | 25 検討していない |
| 13 短期入所（ショートステイ） | 26 その他（ ） |

問10 貴事業所では、新規サービスに参入する上で、課題となることは何ですか。
参入の予定がない事業所の方も、参入を想定した場合の課題をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 新たな職員の確保 | 5 施設や事業所の確保 |
| 2 障害に対応できる職員の能力育成 | 6 収益性の確保 |
| 3 新規サービスのノウハウの獲得 | 7 特にない |
| 4 参入資金の調達 | 8 その他（ ） |

4 利用者本位のしくみづくりについて

問11 利用者の権利擁護について実施していることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- 1 弁護士等との連携（成年後見制度）
- 2 青梅市社会福祉協議会（権利擁護センターおうめ）との連携
- 3 その他第三者機関の利用（具体的に： ）
- 4 担当者（相談窓口等）の設置
- 5 その他（ ）
- 6 特にない

問12 貴事業所では、利用者や御家族からの意見や苦情等を取り入れるために、どのような工夫をしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 利用者・御家族との面談を行う | 4 アンケートを実施している |
| 2 保護者会・懇談会等を行う | 5 連絡帳を利用している |
| 3 意見箱を設置している | 6 その他（ ） |

問13 貴事業所では、平成24年度10月に施行された障害者虐待防止法などに伴い、障害のある人の虐待防止に向けて取り組んでいることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- 1 虐待防止マニュアルやチェックリストを作成している
- 2 職員に対する虐待防止に関する研修や学習を実施している
- 3 職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示している
- 4 虐待防止に関する責任者を定めている
- 5 虐待事案の発生時の対応方法等を文書化している
- 6 障害のある人やその御家族、地域の人等に対し虐待の防止に関する普及・啓発を実施している
- 7 地域における虐待防止について、事業者間で連携を図っている
- 8 その他()

問14 貴事業所では、平成28年4月に施行された障害者差別解消法、平成30年10月に施行された東京都差別解消条例または令和3年4月に施行された青梅市障害者差別解消条例に伴い、提供した合理的配慮がありましたらご記入ください。

問15 貴事業所では、今後の障害福祉施策について、どのようなことを期待していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 人材確保・育成施策の推進 | 8 災害時等の事業継続支援 |
| 2 報酬・給地の見直し | 9 基幹相談支援センターの設置 |
| 3 福祉的就労における工賃の向上 | 10 児童発達支援センターの設置 |
| 4 他法人・他事業所との連携促進 | 11 医療的ケア児（者）への支援の拡充 |
| 5 障害者差別解消の推進 | 12 介護保険制度との連携体制の強化 |
| 6 切れ目ない支援体制の強化 | 13 特にない |
| 7 事務手続の簡素化 | 14 その他() |

5 自由意見

問16 青梅市の障害福祉施策に関して、御意見・御要望がありましたら、御自由にお書きください。

アンケートは以上です。御回答ありがとうございました。

虐待・暴力のない誰もが安心して暮らせるまちの実現

3つの基本理念

- ① 虐待・暴力は人権侵害行為であり、いかなる理由があっても禁止するものであり、その防止に取り組まなければいけません
- ② 虐待を受けた児童・高齢者・障がい者ならびに配偶者暴力の被害者の命と尊厳を守ることを最優先とし、虐待を受けた人の利益・人権をできる限り尊重します。また、虐待・暴力を行った保護者・介護者・配偶者にも必要な支援を行います
- ③ 市、市民、関係団体、地域社会が、それぞれの責務または役割を自覚し、協力して解決に取り組めます

市を挙げて取り組むべきこと

【市の責務】

- 虐待・暴力の防止対策を推進します
- 正しい知識の普及や意識高揚を図るために啓発活動を行います

【養護者等または配偶者の責務】

- 被養護者等が安心して暮らせるよう努めます
- 配偶者と互いに協力し扶助します

【地域社会の役割】

- 虐待・暴力防止への理解を深め、地域で虐待・暴力などがあれば、声かけ・見守りなど、積極的に関わり合うことにより安心して生活できる環境づくりに努めます

【市民の責務】

- 虐待・暴力防止への理解を深めます
- 市の防止対策に協力します

【関係団体の責務】

- 虐待・暴力の早期発見に努めます
- 市の防止対策に協力します